

ヤナギダコ（地方名：あまだこ）

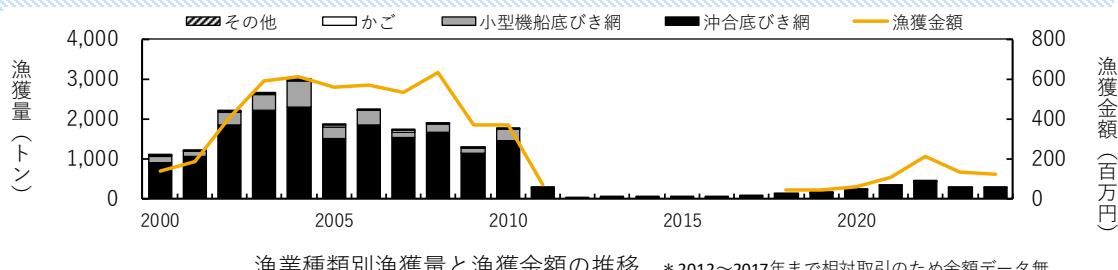
1 生態

- 本県地先の海域においては、水深50～500mに分布します。1～6月は100m以浅へ分布を拡大しますが、9～12月は100m以深が分布の中心となります。
- 外套長10cm以上（体重約0.8kg以上）で成熟し、交接器を持つ個体がみられます。交接は3～6月に行われ、産卵期は同年の7～8月です。
- 調査船調査で毎年採集される数g～数10gの小型群は、翌年9、10月には0.3～1.0kgまで成長すると考えられます。
- 主に魚類、甲殻類、貝類を食べます。



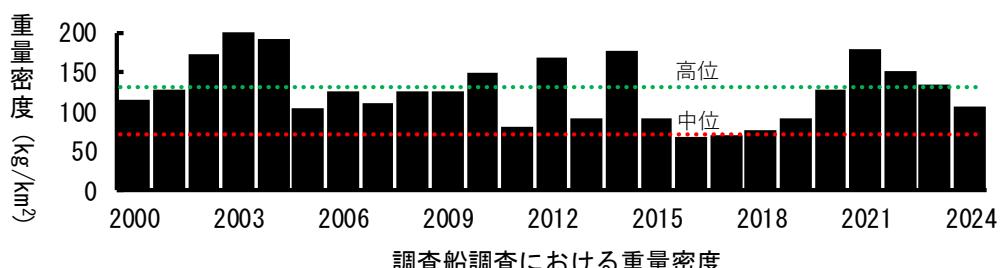
2 漁業に関する情報

- 主に底びき網で漁獲されています。
- 2024年（令和6年）の漁獲量は282トン、金額は125百万円でした。
- 2011年3月の震災以降、操業自粛により水揚げはありませんでしたが、2012年（平成24年）7月から再開されています。



3 資源の状態

- 資源の水準：中位、資源の動向：減少
- 調査船調査の結果では、重量密度は安定した推移を示していますが、2021年（令和3年）以降は徐々に低下傾向にあります。



4 資源管理の取組み

- 現在、実施されている取組みはありません。